

動物実験に関する自己点検・評価報告書

桐蔭横浜大学

2024 年 7 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
桐蔭横浜大学動物実験規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、桐蔭横浜大学動物実験規則が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
桐蔭横浜大学動物実験規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれている。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果
☐ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☒ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
桐蔭横浜大学動物実験規則、飼養保管施設設置申請書様式、動物実験計画書様式、動物実験自己点検および年次報告書様式

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験室設置申請書様式と施設等廃止届様式が定められていない。

4) 改善の方針、達成予定時期

動物実験室設置申請書様式と施設等廃止届様式の作成と動物実験室設置申請について、2024 年度中に検討する。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

桐蔭横浜大学遺伝子組換え実験安全管理規則、桐蔭横浜大学遺伝子組換え実験安全管理細則、桐蔭横浜大学研究用微生物危険防止規則、桐蔭横浜大学遺伝子組換え実験安全委員会規則、桐蔭横浜大学バイオセーフティー委員会規則

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

安全管理に注意を要する動物実験の実施に関連する様式や手続きを整備している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

桐蔭横浜大学動物実験規則、飼養保管施設設置申請書様式、標準操作手順書一覧

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

使用保管施設等の設置と廃止に関する要件が桐蔭横浜大学動物実験規則に定められているが、確認に必要な各種様式の内、動物実験室設置申請書様式と施設等廃止届様式が定められていない。また、標準操作手順書一覧は定められてはいるが、施設の一部のみ対象である。

4) 改善の方針、達成予定時期

動物実験室設置申請書様式と施設等廃止届様式の作成と動物実験室設置申請について、また、標準操作手順書の再整備について、2024 年度中に検討する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特記すべきことはなし。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
桐蔭横浜大学動物実験規則、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
桐蔭横浜大学動物実験規則に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項に関して審議した。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果
☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
R6 度動物実験計画書、R5 年度動物実験自己点検および年次報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ると共に、動物実験自己点検及び年次報告書により動物実験の実施状況を把握した。ただし、R5 年度退職者の一部の動物実験自己点検及び年次報告書の提出が遅れたため学長の承認が遅れた。
4) 改善の方針、達成予定時期
退職者との連絡方法をあらかじめ委員会が把握する。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料

高圧滅菌器の法定・自主点検記録、第二種使用等核酸防止措置期間確認・承認申請書、遺伝子組換え生物の授受についての通知書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 法令に適合した P1A 動物施設であることを確認した。また、該当する実験について、事故等の報告はなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 R5 年度実験動物使用保管状況の自己点検票、標準操作手順書一覧、実験動物搬入記録、微生物モニタリング記録、実験動物繁殖台帳、緊急連絡先
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物は適正に飼養保管されていたが、一部の標準操作手順書に改善すべき点が見られた。
4) 改善の方針、達成予定時期 一部の標準操作手順書を R6 年度中に改訂する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置申請書、R5 年度実験動物使用保管状況の自己点検票、動物実験施設温湿度点検記録、動物実験施設設備保守点検記録、動物実験施設入退室管理記録、高圧滅菌器の法定・自主点検記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験規則が求める基準を満たしていることを委員会が確認しており、毎年の委員会視察と動物実験自己点検及び年次報告書の提出によって、概ね適正に維持管理されていることを把握している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果
☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
実験動物慰霊祭開催記録、マウス解剖実習テキスト
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
実験動物慰霊祭や学部生実習時に基本指針に則った教育訓練が実施されていることを確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果
☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験に関する情報の web サイト(https://toin.ac.jp/kenkyu/ethics/animal/)
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
大学のホームページ「研究推進」に動物実験に関する情報を公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし。
